

8月22日

テーマ：「御国が来ますように」

聖書箇所：マタイの福音書6章10節

◆今日のみことば

御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。

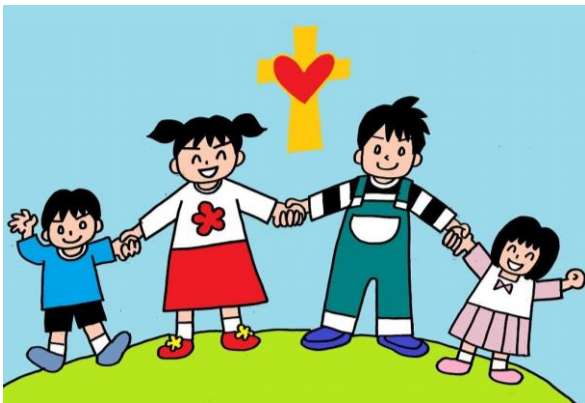
マタイの福音書6章10節

◆メッセージ

今日は、イエスさまが教えてくださった「主の祈り」の中に書かれているひとつの言葉を考えてみましょう。それは、「御国（神さまの国）が来ますように」というお祈りの言葉です。

私たちは、日本という国に住んでいますが、今日のお祈りの言葉は、日本という国だけではなく、世界に神さまの国が来ますようにというお祈りなのです。それは、神さまがすべての支配者でありますように、ということです。世界も、わたしたちの心も。

この主の祈りをする人は、神さまの子どもです。でも、神さまの子どもであるわたしたちを、神さまからはなれさせようとするのが悪魔です。悪魔は神さまの国が来ないように悪いことばかりを考え、悪いことをさせようとしています。神さまのことをわすれていると、悪魔の考えていること



とをしてしまうようになります。そうすると神さまの国には来ないし、行くこともできません。それが罪と言います。悪魔がよろこぶ罪をおかしながら、今日の主の祈りを言おうとしたら、とっても変です。「御国が来ますように。」とお祈りをしている人は、悪魔がさそってくる罪からはなれるようにします。神さまのことをいつもおもっていきましょう。神さまの喜ばれる言葉を言うようにします。そして、神さまの喜ばれることをおこなうので

す。「御国が来ますように」と、「主の祈り」を口で言うだけでは、お祈りしていないことと同じなのです。おうちの人といるときも、お友達といるときも、もちろん一人にいるときも「御国が来ますように」と、お祈りしている神さまの子どもにふさわしい人でいつもいましょう。みんながイエスさまが教えてくださったお祈りをし、神さまの子どもとして生きているなら、神の国は来ています。今日も、神さまのみこころを行います、という思いをもって、祈りましょう。



◆お祈り

「今日から、悪魔の言うままにならないで、しんげんに、イエスさまが教えてくださった御国が来ますようにと、祈る人にさせてください。」

(青葉キリスト教会牧師 漆間一英)